

## 研究主題 持続可能な社会づくりのための環境教育の推進

～消費者視点から生産者視点への環境教育によって育む学力と環境保全意欲～

### I 本研究会の概要

1964年に公害対策研究会として発足。その後、環境教育、ESDと時代を反映した研究と教育普及を実践している。低炭素社会、生物多様性社会、資源循環型社会を目指すことは持続可能な社会づくりに繋がる。「持続可能な社会のづくり手の育成」として環境教育・ESDを推進し、将来世代の育成を行っていく。

研究部による研究を要とし、授業モデルの構築をするとともに、自然観察会や工場見学会等を実施している。

### II 主題設定の理由

これまで東京都小中学校環境教育研究会は、人類の行き過ぎた社会活動が引き起こした環境問題に警鐘を鳴らし、持続可能な社会への改善を試みる教材開発を進め、授業実践を進めてきた。

昨年4月、米国で開催された気候変動サミットにおいて、日本政府は地球温暖化ガス排出量を2030年までに、2013年度比で46%削減すると表明した。現在、各国政府のみならず、民間や経済界はSDGsに対して大変真摯に積極的に取組を進めている。

—消費者視点から生産者視点へ—

これまで取り組んできた環境教育は、主に消費者の行動に視点を当てたものが多かった。例えば、「マイクロプラスチックを減らすためにプラスチックの消費量を減らそう」「食品ロスをなくすために買い物工夫しよう」等の取組等がある。しかし、今学んでいる多くの子供たちは、10年、20年後には、消費者としてだけでなく、生産者として社会に出ていく。そのため、今の学びを次の世代に繋げるためにも生産の過程から消費の段階の全体を視野に入れ、環境保全意欲を高めていく必要がある。これにより、私たちが営む日常全てにおいて、無意識で環境を守ろうとする心を培うことができると考えている。

これまで本研究会が取り組んできたESDは、その実現を可能にすると信じている。それは教育の、教師の、そして児童・生徒の変容をまさに希求するものである。

### III 研究の方法

- (1) 役員定例会で理論構成
- (2) 本研究会で作成した「新しい環境教育」で示した児童・生徒の3つの能力・態度をもとに、研究部において教材開発、授業実践を行う。

児童・生徒の視点を消費者視点から生産者視点へ広げ、自らが生涯にわたる環境保全への継続的な意欲を高めるためのモデル授業の構築を行う。

【モデル授業の構築】小学校第5学年総合「つくる責任・使う責任」

サプライチェーンにおける環境保全の取組を考える。

- (3) 研究発表校、研究部員所属校、外部機関、企業と連携し研究実践を深める。

【実践】研究員の所属校で授業実践

企業との連携による授業構築

(2022年度は、味の素(株)と連携)

#### IV 研究の過程

- (1) 学校現場での ESD の推進状況の確認
- (2) 昨年度の研究成果の検証
- (3) 企業（味の素(株)）との連携による生産者視点を取り入れた教材開発
- (4) 研究部員の学校における授業実践
- (5) ポートフォリオによる授業検証

#### V 授業実践例

小学校第5学年総合「つくる責任・つかう責任」

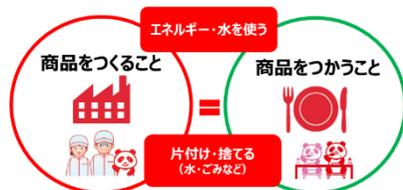
- (1) 「サプライチェーン」における環境保全の取組を知る。



- (2) それぞれの行程における環境負荷やエネルギーロスや「つくること」と「つかうこと」の共通点を見出しながらか、自分たちにできることを考える。



- (3) 各自の取組と関連付けながら、探究をしていく。



地球環境を大切にしていこう

#### VI 成果と課題

##### 【成果】

- ・企業と連携をすることで、生産者の視点へ視野を広げることができた。これにより、消費行動への変容も見られた。

##### 【課題】

- ・教員一人一人が現代社会の抱える環境問題をより一層深く知り、子供たちと共に考える必要性が明確になった。

#### VII 本研究会のその他の活動

##### (1) 研修会

- ・リサイクル研修会(8月2日)  
JFE スチール(株)他
- ・自然観察会(8月5日) 御岳山
- ・夏季研修会(8月23日)  
味の素(株)川崎工場
- ・動物園研究会(2月4日)  
井の頭自然文化園



##### (2) 第58回東京都小中学校環境教育研究発表会

(第54回全国小中学校環境教育研究大会と共催)

令和5年1月28日 オンライン開催

講演「地球環境変動と生物多様性(仮)」

講師: 国立環境研究所 生態リスク評価・対策研究室 室長 五箇 公一 氏

#### <連絡先>

団体名		東京都小中学校環境教育研究会
代表者	所属	多摩市立連光寺小学校
	職 氏名	校長 関口 寿也
	連絡先	042-373-1920
事務局	所属	世田谷区立玉堤小学校
	職 氏名	校長 伊藤 修久
	連絡先	03-3701-1536